

平成 24 年度

教育研究開発センター自己評価委員会議事録〈要旨〉

日 時：平成 24 年 12 月 18 日（火）17：00～17：45

場 所：基礎教育棟 1 階 非常勤講師控室

出席者：羽野委員、宮下委員、山田委員、岩橋委員、
篠崎委員、出口委員（大阪医科大学教授）

《 議 題 》

■ 平成 23 年度事業実績報告書について

平成 23 年度の事業実績について、羽野委員が医学部分を、山田委員が保健看護学部分をそれぞれ報告し、その後意見交換を行った。

個々の事業の詳細に係る資料を回覧

◆ 医学部

・ 各部会で行った議事について

教育評価部会：カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー・ベストティーチャー賞規程の案作成（教授会で承認済）、卒業判定基準変更等

入試制度検討委員会：入学後の成績の推移、障害等がある場合等の特別配慮等。

カリキュラム専門部会：モデル・コア・カリキュラム改訂による変更、海外実習等

・ 開催した FD について

第 5 回：保健看護学部と共催

・ SP の会について

会員減少に伴い新たに募集を行った。現在 20 名強

・ 取り組んだ事業について

プラグマティズムプログラムが平成 24 年 4 月で終了。大学として継続。日本学術振興会大学教育等推進事業委員会の現地調査を受けた。

・ 学生実習について

実習について、3 年生で行っていた障害者福祉施設での実習を 2 年生で行った。

・ 発行した冊子等

・ 日本医学教育学会総会での発表内容

【主な意見】

- GP は 7 年継続するという決まりがあると思うが、継続について。
→若干縮小しているが大学の予算で継続している。

◆ 保健看護学部

- ・ 各委員会で行った議事について
入試制度検討委員会：志願者減のため、今のところ後期日程ははずせない。
あり方検討委員会：新カリキュラムについて検討。保健師の選択制や海外研修、ポイント制によるボランティア単位認定を24年度から始めている。
- ・ 開催したFD
各教員から研究・教育について発表。また、医学部と共催により、交流が図れた。
- ・ 発行した冊子
- ・ 和歌山県立医科大学保健看護学会について
- ・ 学生自主カリキュラムの取組
震災関係が多かった。ベトナムまで調査に行ったり、学会で発表した人もいる。

- また、授業評価・学生評価について、教務学生委員会で、授業・実習・演習の評価を行い、改善を図っている。

【主な意見】

- 自主カリキュラムについて、夏休みなどに実施しているのか、海外で行う場合保険等はどうしているか。海外に行く学生が増えてきたので心配。
→長期休暇中に行っている。医学部も別にあるが、共同で行っているものもある。教員はアドバイスはするが、学生が主体で行う。
保険に加入するよう呼びかけている。また、全ての研究に教員が責任者としてついている。
- 授業評価について、医学部の評価の方が厳しい。
→保健看護学部は、学年が上がる毎に評価が上がっている。

◆ 臨床技能研修センター

- ・ スキルラボ備品・利用状況等
看護、研修医も利用。コアカリ改訂により今後学生の実習等さらに利用が増えると思われる。学外使用についても準備中
- ・ わりんぎ
ほぼ毎月、学生が自主的に手技中心に勉強。スタンプシールを発行する取組を始めた。

◆ HPについて

取組等の紹介

【その他意見】

- 医学部のFDについて各回の要旨を記載してはどうか。
次回からFDの要旨、医学部自主カリキュラムについても記載する。資料として予算書、決算書も添付する。
また、意見をいただくだけでなく、教育研究開発センター独自に評価をいただくことを進めていきたい。
新たなGPにも取り組みたい。